



新人看護師研修実践報告

教育担当副看護部長 今井 文子

今回の看護部だよりでは、新人看護師研修の様子をご紹介します。

毎年4月、当院には、専門学校や大学などで看護基礎教育を終え、看護師国家試験に合格した新人看護師が、全国津々浦々から集まります。新規入職者には、部署配属の前に研修の時間を設けています。研修では、期待される役割を理解し、社会人としての一步を踏み出します。



中畑副院長兼看護部長より、当院の看護師としての成長を願い、“自分の頭で考え・判断し・主体的に行動できる看護師”になってほしいとの言葉が直接伝えられました。新人看護師は新採用看護師バッジを胸につけ、安全な医療が提供できるよう1年間

先輩看護師や多くのスタッフに支えられ、患者様から学びを得て、成長していきます。

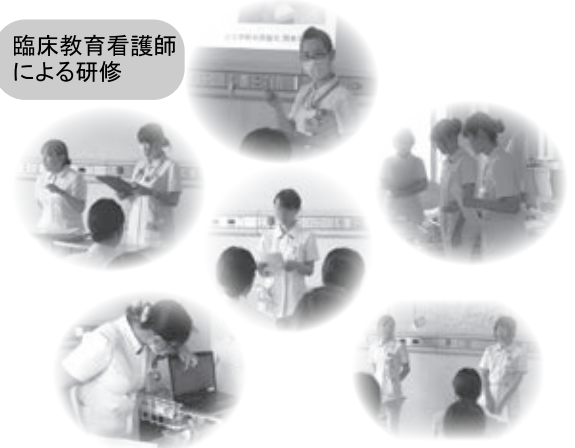
看護部長より
新入職者に
望むこと



新採用者バッジ

当院の新人看護師教育体制の特徴は、新人看護師以外のすべての看護スタッフが、実地指導者として新人看護師教育に関わることです。中でも要になるのは、実地指導者の中の臨床教育看護師です。この臨床教育看護師は、部署内では身近な先輩看護師として日々の業務の中での指導を行います。加えて、部署を離れて行う集合研修では、講師の役割を果たします。臨床教育看護師の他に、新人看護師と実地指導者に対して、直接的・間接的に指導を行う、教育担当の主任看護師を配置し、新人看護師を支える体制を整えています。

臨床教育看護師
による研修



新人看護師たちは、看護学生から看護師としての社会人への変換期にあります。1年の間、多方面からの支援を受け、基礎的な看護実践が行える能力を身に付けていきます。集合研修では、様々なプログラムを実践しています。安全で正確な看護実践が行えるように技術トレーニングから開始されます。そしてある時は、過ぎていく日々に対して、きちんと立ち止まり実践を振り返り、進むべき方向性を確認する目標管理研修を行います。成長を喜び合い、悩みを共有し、看護師として着実に成長していることを確認します。これからの当院の看護を支えてくれる期待のホープたちです。どうぞご指導よろしくお願ひいたします。

目標管理



模擬患者の内服準備



床ずれ予防と対策



モデル人形での点滴投与



心電図モニター操作



採血トレーニング

